

24年度第5回 運営推進会議議事録

平成24年11月20日

記録 齊藤・石井

参加者

福祉課	福祉施設係課長	阿部様
	政策推進課長	杉原様
	政策推進課政策調整係	横山様
緑町	町内会長	首藤様
	副町内会長	松木様
	お買い物バス利用者様	佐藤様
ケアプランセンターそよかぜ		寺島様
ケアプランセンターふれあい		佐々木様
ご家族様代表		岡様
スタッフ		中村・松村・櫻庭・米田・齊藤・石井・吉田

中村 : おかいものバスについて、前回もお話したが、杉原さんの方から実際に利用された方からの感想を聞きたいとの話があったので今回の会議に去年利用されていた方をお呼びした。前回、町内会の方に回覧板を出した。町内会の方に了解をもらい、今月のはじめに配った。カレンダーと日程をくっつけて色付けて分かりやすい形で作成した。一緒に付いていると思うが、今日現在までで7名の方が使いたいと連絡があった。12月10日よりスタートする。去年のはじめは2~3人だったが、今年のはじめから人数多い。個人情報もあるので名前は伏せているが全員女性の方の登録だった。介護保険サービスは使われていない方を対象に集まった。ケアマネの方から意見を伺いたい。

寺島様 : 介護保険サービスを受けてないのは良いけど、要支援1、2くらいの方なら良いと思う。この方々が一番膝が痛いとか腰が痛いとかあるが、誰が目的に入って使用しても良いと思う。自分の目で見たい、買いたいと思う方もいる。ヘルパーの方もいるけど。

佐々木様 : 買い物頼んで買うのであれば頼みたくないという方もいた。やっぱり一緒に行って買い物をしたいという要支援の方がいた。

中村 : ヘルパーの方と一緒に買い物は可能なのか。

寺島様：実際にヘルパーさんと一緒に行くというのは要支援だと難しい。要介護は良いけど。みんな紙に書いてきてもらう。お魚とか野菜とかだったら見て買いたい人多い。要支援だとちょっと腰痛いとか膝痛いとかある。

杉原様：スーパーの中でのサポートなどスタッフの目がきちんと行き届くのか。活用の部分で範囲を広げれるのであれば広げた方が良いのかなと思う。

中村：それは政策室の考え方。介護保険の制度は係長の考え方。施設といえば介護保険ですよ。

寺島様：カートだと歩行器みたいに楽に歩ける。介護が付いて介護タクシーは病院だけ。病院受診の為のもの。買い物は行けないから、自費でヘルパーやタクシー頼んで使う。要支援は膝痛いとか掃除出来ないとか人が多いから店に入るとカートがあれば楽に買い物出来るという方が多い。

首藤様：去年も同じ条件でやった。範囲を広げるのは厳しいという話し合いの下でこの条件をつけた。

中村：去年も介護保険を利用している方がいた。でも、大変だから外した。歩くのも見てなきゃいけない。色々意見を聞きたい。今のこのお買い物バスというのは元気な方でお年寄り、一人暮らしの方などを対象に行っている。寺島さんが言ったのもわかるけど次のステップだし、七飯町のケアマネがどう思っているのか聞きたい。ケアマネからいろんな意見を聞いて、様々なニーズの中で私たちが何かやりたい。私たちが要支援の方をやるとある部分で担当のケアマネいるのでうまくいなくなる。

寺島様：話を聞いてて、そういう人も利用できれば良いなと思った。介護認定を受けるという事は身体的に要支援なのか別な面の要支援なのかという部分で範囲が広がってしまい大変。そうなるとうやはりサービスを受けていない人限定で行った方が良いと思う。

首藤様：去年集めたら認定受けている人も入った。でも、何かあったら困る。

寺島様：その人の状態が介護認定1、2を取っているかという部分がわからない。そうなった時には大変。

中村 : 担当のケアマネも分かっていない。こっちから聞くのは個人情報なので聞けない。
要支援1と要介護1の狭間は厳しい。ケアマネさんが間違っって入ったと言ってくれればいいけど、実際にその担当ケアマネも来ているの知らなかった。ケアマネに聞いたけど「個人情報です」と拒否された。担当ケアマネくらい教えてくれてもいいと思った。本人の名前や住所を聞いているわけではない。分からないでやっても担当のケアマネから何も連絡なかった。

佐藤様 : おかいものバスに参加していたのはたしか2人くらいいた。

寺島様 : 七飯のケアマネの中でもおかいものバスをやっているのを知らない人もいっぱいいる。

中村 : だからケアマネの方にも来て頂いている。ある程度分かってもらおうと思って話をしている。あかまつさんや望ヶ丘さん、しゃきょうなどある程度の事業所のケアマネさんには来て頂いている。役場は教えれない。担当のケアマネは、連絡来ないと言うので抜けて頂いた。

佐々木様 : 一生懸命やられていて大変素晴らしい取り組みだと思った。次のステップに行くと皆さん喜ぶと思う。期待している。

中村 : 前回利用していた方から見てどうか。

佐藤様 : 大変便利。私回覧もらって無かったけど、道で前使った人に「今年も良いねえ。また使わせてもらえるね」と話して聞いた。去年は大変ありがたかった。瓶類とかは重い物あるので助かった。魚長とラルズで分けなくても良い。行けば同じだし、こっちのわがままだから。そちらに気の毒に思う。運転手と助手の方は休む人なしでやってるみたいで申し訳ない。一週間に一回でも十分。お世話になる人は家族が少ない。一人暮らしとか旦那さんがいないとか。一週間に2回行くのはわがままだと思っていた。週に2回ずつじゃなくて車の関係もあるし、いっぺんにしても良いと思う。

中村 : 魚長とラルズでは売っている物が違う。

松村 : 特売とかあるから売っている物や値段も違ってくる。

杉原様 : 行きつけの店とか、行きやすい店とかあるから、選ぶのはその人それぞれ違う。

首藤様：意見あったのは、乗り場4か所をあと2ヶ所くらい増やしてくれればありがたいという意見出た。冬道だと止める所もないし高齢者は乗り場まで歩くのが大変。乗り場をあと2ヶ所くらい増やしてもらえれば。今回はこれで出しちゃったから今後にでも期待している。緑町は長いので歩いて集合場所まで行くのは高齢者は大変。

中村：使っている人が多い所に作れば良いと思う。使わない人の近くに作っても仕方ない。家の近くまで迎えに行っていないのか。

松村：帰りは家まで送って行くが、行きは集合場所に集まっている。

松木様：4か所で6か所に増やせば、今度は8か所ってなる。今は4か所だけど近い人もいれば遠い人もいるし。今増やせばだんだん増えていく。家まで迎えに行くのが一番良いと思う。

中村：行く人の中でリーダーシップを取れる人がまとめれば良いのではないか。

首藤様：今回は直接申し込んで下さいと書いてるので、こっちは誰が申し込んでいるか分からない。

佐藤様：名前教えてくれれば、私、行く人まとめてあげる。

松村：去年と同じ人なので顔、場所は分かっている。

杉原様：鳴川のローソン下がったところから函館よりの人はいないって事は本当にハッピーの方だけなんですね。

松村：そうです。

杉原様：それならだいたい把握しているんですね。

首藤様：違う集まる場所だと利用したいという人がいるかもしれない。もっと近い場所に集まる場所があればね。

中村：12月はクリスマスよりは年末に買い物したいんじゃないか。正月になにかセール

とかはないのか。おせち料理とかの買い物だったらこんなに早く買い物しないのではないか。

松村 : チラシを見て見ないと分からないが、多分、買い物は前の日ではないか。

阿部様 : 年末の買い物はすごい混む。買い物に付き合わされるけどひどい目にあう。高齢者の人が行くと疲れるのではないか。

杉原様 : 一般的に 28 日に仕事おさめだから。

中村 : じゃあ 24、25 日で良いか。やってみないと分からない。1 月のカレンダーは 12 月に作るが、正月の買い物はいつ行くか。場所を変える事が出来るので、1 月で乗りやすいように変わるかもしれない。

杉原様 : 第 2、第 4 って決めているのか。

松村 : そうです。

中村 : 別に第 1、第 3 でも良いと思う。空き過ぎるのもダメだし近すぎるのもダメ。阿部さんの方から今までの話を聞いていて何かないか。

阿部様 : 認定受けている人がいるっていうのは難しい。お店の中での対応もある。そういう所が難しい。

中村 : あくまでも自己決定が出来る人。自分で決めて乗って、買い物して、万が一、車の事故になったり、転んだりとあるかもしれない。リスクを理解していて自己決定が出来る人がベスト。要支援 1、2 の人が買い物のニーズで困っているのであれば、介護予防とかで社協がお買い物バスみたいなものをお店に出してあげるとか、お金の使い方を違う形で切り替える方法もあると思う。私たちがやると良い時は良いけど、何かあると民間がそんなことやってと言われるが、いざ何かあった時に民間がそんなことやってなど裏返しが返ってくる。町は町に合わせた対応をしてほしい。私たちが出来るのは元気で町の中で暮らす、支えてくれる人を探す、緑町の事業所として 1 人で暮らしている方等をサポートしていける体制を持っていければ良いと思う。去年も顔見れた、今年も顔見れたとお元気で在宅生活を過ごしてくれるのをサポート出来れば、地域の仲間と「ネギ安かったわね」「鍋にして食べようかしら」「おイモ煮たから食べない」等の関係が構築されていくの

もある。私は家が函館だけど、近所の人が帰りが遅いから家の玄関に三平汁置いてくれたり「これ食べて」と柿もらったりという関係作りがある。在宅訪問にしても「元気ですか～」と声を掛けてもなかなか出て来ない方もいると思うが「ちょっとイモ煮てみたから食べないですか」と声を掛けると「そうかい」と話を聞いてくれるのではないかな。

松木様：いま4人の民生委員も回って歩いている。

中村：4人の民生委員が歩いていても「イモ煮たのよ」「カボチャ煮たから食べないかい」などと声を掛けた方がやはり効果は違うと思う。イモにこだわる訳ではないですけど。そういう時代に戻して行った方が良い。昔は孤独死とかもなかったでしょ。

横山様：佐藤さんにお聞きしたかったんですが、バスに乗ってみて、ここはもうちょっとこうしてほしいとかあるか。いっぺんにお店に行ってみてほしいって言う意見の他に何かあるか。

佐藤様：特になにも。お客さんのわがままで「こっちいきたい」とか「あっちいきたい」とか乗せてもらっているのになんだか申し訳ない

中村：どうせやるなら喜ばれるようにやった方がいい。

杉原様：高齢者の方は結構まとまっている。遠いところでも歩いて来てくれる。バス停がある程度ポイント決めた方が良いと思う。

中村：鳴川でも、今ちょっと調査をして、単独世帯の方を対象に、おかいものバス運行してみようと考えて動いているが、今の状態を説明して欲しい。

吉田：鳴川町内会でも、おかいものバスを町内会の方と、私達ホームのスタッフも協力して、運行してみようと考えている。今の段階では、三役会が、終わり事務会議という形まで来ている。12月の14日には、全体会議を行い、そこで結論を出す予定。早ければ、その間にアンケートをお手伝いという形で作り、12月中に今回のような人数の予測まで行き、出来れば1月から運行を考えている。

首藤様：そのようなのも出てくれば、町としてもこれだけの高齢者の方が不自由していると分かるし、色んな援助の仕方も変わってくると思う。

吉田 : 今回はモニターみたいな感じで、鳴川の地区の中に 25 名の方の高齢者の方がいるので、その方を対象にしてみずは、初めてみようかという形で町内会長さんは、話している。

中村 : 鳴川は今後も町内会の方々と協力し、鳴川のニーズに合わせとりあえず、試行という形で行っていきたい。緑町の方は、12～2月まで運行させて頂く。1月の予定は12月中に作り持っていく。首藤さんの所に正月明けに持って行く。運行状況については半ばくらいになったらやろうかな。せっかくだから我慢して使ってもらうのではなく、ニーズに合った方法を出来る範囲でやっていきたい。次の会議は12月、1月のお買い物バスを実際にやってみて、使ってどうだったのかをやりたい。こんな方法でやると良いという事を提案を出して頂けると嬉しい。今回やる6回の中で役場の方がどうやってやってるかみるとか、何か提案があれば意見が欲しい。

杉原様 : 鳴川と緑町の話、実際に使っている人の話を聞いて、町の方でもコミュニティバスを検討していたが、お金もらえれば運行しますという話が多く、コミュニティバスは取りやめになった。走ってない時は、こちらの方から故意的に走る形。お買い物の足と言う事で、日帰りDSのバスを活用してお買い物バスが運行出来ないか検討していきたい。今は陸運局の許可もあって緑町はハッピーさんでやって頂いているので町の方はやれる所をやっていく。佐藤さんの意見は大変参考になったし、町長の方にも伝えて検討していきたい。一步踏み出していきたい。

その他、意見、質問等無いため、終了。